

## アルファ化研株式会社

愛知県日進市浅田町下小深田 6-4

TEL052-804-4878 FAX052-805-3878

<http://alpha-kaken.com/>

# 耐候性、硬質外装用コーティング剤 アルファコート A-4、A-5 について



アルファコート A-4、A-5、A-6 はセラミックス、合成樹脂コンプレックスコーティング剤です。従来の塗料、コーティング剤の常識をはるかに超える、優れた性能が確認されています。コンクリートモルタル、ボード、鋼板、アルミ、金属溶射皮膜等の塗装トップコートとして使用できます。

### アルファコート A-4、A-5 の特徴

#### ①耐候性に優れています。

亜鉛-アルミのガルバ溶射皮膜トップコートとして長年の実績の上に開発されてきました。ガルバ溶射皮膜と併用することでフッ素樹脂塗料をしのぐ耐候性、凍結融解性、耐塩水噴霧性が確認されています。

#### ②きわめて硬質で、同時に柔軟性があります。

コーティング皮膜は室温にて 4~7 日間で硬化し、6H 程度の硬度に達します。1~2 ヶ月経過すると 8H の超硬質状態に到達します。この状態でも皮膜は柔軟性を失わず、塗板の折り曲げによってもクラックの発生はまったくありません。

#### ③硬化した皮膜は傷がつきにくく、過酷な条件に耐えます。

スチールウール等によってもほとんど傷はつきません。

**④ほとんどの外装材料に塗布可能です。**



コンクリートモルタル、ボード、亜鉛-アルミのガルバ溶射皮膜等多孔質材料に対しては問題なく使用できます。鋼板、メッキ鋼板、アルミ等の場合は下塗りプライマーの使用をお勧めします。

**⑤耐薬品性に優れています。**

耐酸性、耐アルカリ性に優れています。

**⑥塗布は通常の塗料と同じです。**

2液混合タイプで、主剤、硬化剤を混合すれば、はけ塗り、スプレー等で行え、通常の塗装と同じです。室温で硬化しますが、加熱によって促進させることは可能です。促進剤を加えることによって硬化を促進することも可能です。

### アルファコート A シリーズ一覧表

アルファコート A-5	光沢があり、硬質、耐候性、耐薬品性、柔軟性に優れています。 アルファコート A シリーズの標準的タイプです。
アルファコート A-4	つや消しタイプです。艶はまったくありません。
アルファコート A-5F	塗床用タイプです。 硬度が高く、耐摩耗性に優れています。耐候性に優れていますから、屋外にも使用できます。 フォークリフトが走行する工場床に適しています。

### 使用方法、使用上の注意



①主剤、硬化剤を重量比で4対1の比率で混合し、ご使用ください。主剤は内容物の分離があるため、よく攪拌混合した後ご使用ください。計量は秤を用い正確に行ってください。

②塗布する下地は汚れを落とし、清浄にしてください。油分などの汚れがある場合は、よく脱脂した後塗布するようにしてください。

③硬化剤は使用后必ず密栓し、外気に触れさせないでください。外気に触れたままですと反応が進み、やがて硬化してしまいます。主剤、硬化剤を混合したものは使い切ってください。元の缶に戻すことはできません。

④材料の希釈は専用の希釈剤(ソルベント MX)を使用してください。他の希釈剤を使用する場合はアルコール等の溶剤を含まず、脱水したものを確認して使用してください。トルエン、キシレン等の芳香族溶剤、MEK、MIBK 等のケトン系溶剤、酢酸エチル、酢酸ブチル等のエステル系溶剤が使用できます。金属溶射の封孔処理として使用する場合は、10~50%のソルベント MX で希釈し、御使用ください。封孔処理の上に塗布する場合は、下塗り封孔処理液がよく硬化した後塗布してください。

⑤使用時は局所排気装置を設け、ガスマスク、保護眼鏡等保護具を着用して使用してください。危険物ですから、火気は絶対に避けてください。火気厳禁、危険物第四類第二石油類、危険等級Ⅲ



アルファコート A-5F

### アルファコート Aの耐薬品性

	アルファコート A-5	
	1週間後	2週間後
5%食塩水	◎	◎
5%塩酸	◎	◎
5%磷酸	◎	◎
5%苛性ソーダ	◎	○※2
白灯油	◎	◎

※1:塗膜の光沢が少なくなった。

※2:塗膜の一部で膨れが発生した。

## 塗り床用コーティング剤

# アルファコートA-5F

### ①硬化乾燥が速く、冬場の低温時でも施工できます。

A-5 FはA-5から硬化乾燥性を大きく改良しました。硬度の立ち上がりが早く、塗布後短時間で歩行可能となります。

乾燥、硬化が速いため下塗り、上塗りの塗布を1日で終わることができます。

冬季の0℃以下の低温時でも施工できます。

### ②傷がつきにくく施工時の艶が長く続きます。

コーティング皮膜は室温にて1~2日間で硬化し、6H程度の硬度に達します。1ヶ月程経過すると8Hの超硬質状態に到達します。硬度と靱性に優れ、苛酷な使用条件のもとでも耐え、長期の耐久性を発揮します。

### ③耐候性に優れ屋外床でも使用できます。

亜鉛-アルミのガルバ溶射皮膜トップコートとして長年の実績の上に開発されてきました。

ガルバ溶射皮膜と併用することでフッ素樹脂塗料をしのぐ耐候性、凍結融解性、耐塩水噴霧性が確認されています。

エポキシ樹脂のような変色はありません。

## アルファコートA-5Fの性状

	A-5F	A-5FW(冬用)
外観	着色液状	着色液状
主成分	アルミナーアクリルウレタンコンプレックス	アルミナーアクリルウレタンコンプレックス
硬化方法	2液混合室温硬化	2液混合室温硬化
主溶剤	キシレン、酢酸ブチル	キシレン、酢酸ブチル
粘度 主剤(cps/20℃)	800~1400	800~1400
固形分(%)主剤	72±2%	72±2%
配合比 主剤:硬化剤	100:25	100:25
可使時間(25℃)	約60分	約15分
指触乾燥時間(25℃)	約1時間	約0.5時間
完全硬化時間(25℃)	1~2日間	1~2日間

	アルファコートA-5F		アルファコートA-5FW	
	1週間後	2週間後	1週間後	2週間後
5%食塩水	◎	◎	◎	◎
5%塩酸	◎	◎	◎	◎
5%燐酸	◎	◎	◎	◎
5%苛性ソーダ	◎	○※2	◎	○※2

白灯油	◎	◎	◎	◎
-----	---	---	---	---

※1:塗膜の光沢が少なくなった。

※2:塗膜の一部で膨れが発生した。

### **A-5F の使用上の注意**

①主剤、硬化剤を重量比で4対1の比率で混合し、ご使用ください。主剤は内容物の分離があるため、よく攪拌混合した後ご使用ください。

計量は秤を用い正確に行ってください。

②塗布する下地は汚れを落とし、清浄にしてください。

油分などの汚れがある場合は、よく脱脂した後塗布するようにしてください。下地が濡れている場合は、塗膜が発泡しやすいためよく乾燥させてください。

③硬化剤は使用後必ず密栓し、外気に触れさせないでください。外気に触れたままですと反応が進み、やがて硬化してしまいます。

主剤、硬化剤を混合したものは使い切ってください。元の缶に戻すことはできません。

④材料の希釈は専用の希釈剤(ソルベント MX)を使用してください。他の希釈剤を使用する場合はアルコール等の溶剤を含まず、脱水したものを確認して使用してください。トルエン、キシレン等の芳香族溶剤、MEK、MIBK 等のケトン系溶剤、酢酸エチル、酢酸ブチル等のエステル系溶剤が使用できます。

⑤使用時は局所排気装置を設け、ガスマスク、保護眼鏡等保護具を着用して使用してください。

危険物ですから、火気は絶対に避けてください。

火気厳禁、危険物第四類第二石油類、危険等級Ⅲ

### **A-5F の使用方法**

#### **下地処理**

塗布する下地は汚れを落とし、清浄にしてください。

油分などの汚れがある場合は、よく脱脂した後塗布するようにしてください。下地が濡れている場合は、塗膜が発泡しやすいためよく乾燥させてください。

クラック等は樹脂パテで補修してください。古い塗膜がある場合は取り除くかA-5Fの溶剤に耐えることを確認し、サンディング処理した後とふしてください。

#### **プライマー処理**

A-5FにソルベントMXを20~50%加え希釈したものをプライマーとして使用します。

下地によく浸透させるようローラーに\*たっぷりと、ていねいに塗布し2時間程度養生してください。

#### **上塗り**

A-5Fをローラーにてていねいに塗布してください。



## 製品荷姿

主剤 16kg 入り目石油缶

硬化剤 4kg 入り目缶



**アルファ化研株式会社**

愛知県日進市浅田町下小深田 6-4  
(TEL) 052-804-4878 (FAX) 805-3878